

平成25年度 法科大学院入学者選抜試験問題

憲 法

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. 試験中に問題用紙の印刷不鮮明や解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 解答にあたっては、必ず黒か青のペン(鉛筆は不可)またはボールペンを使用してください。
5. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 受験番号・氏名を所定欄に記入してください。
 - (2) 解答用紙は、2枚あります。2枚目の解答用紙にも受験番号・氏名を記入し、ホチキスは、はずさないで使用してください。
 - (3) 訂正する場合は、＝線で消すなどして、分かりやすく訂正してください。
 - (4) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないでください。
6. 問題用紙の余白等は適宜利用してかまいません。
7. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

【憲 法】

以下の事例はあくまで仮定である。

Xは、大学卒業後、Y株式会社に3カ月の試用期間を設けて雇用されたが、試用期間の満了前に本採用を拒否された。Yは理由として、Xが採用試験である面接において虚偽の回答をしたことを挙げた。具体的には、Xが特定の政党を支持しており、学生時代に（現在も休日に）、駅前の広場や住宅地などでビラ配布をしたり、集会に参加していたが、面接官の「政治運動をやったかね」という質問に対し、「政治運動には興味がなく、やっていない」と答えたことである。

Xとしては、Yによる採用拒否は無効であり、従業員たる地位の確認と賃金の支払を求める訴えをしたいと考えている。

問1 私法関係における基本的人権について、学説の状況を説明せよ。【配点 20 点】

問2 Xはどのような憲法上の主張が可能か。【配点 60 点】